

第4回 今治市総合計画審議会 会議録

1 日 時 令和7年7月18日（金）14時00分～15時00分

2 会 場 今治市役所第2別館11階 特別会議室3・4号

3 内 容

1 開 会

2 議 事

（1）今治市総合計画基本構想（案）について

（2）今後の開催予定について

3 閉 会

4 出席者 <委 員>（順不同、敬称は省略）

増田 茂樹 野間 有造 越智 瑞啓

松村 暢彦 神林 康弘 村上 浩一

西原孝太郎 坂野花菜子 重松 恵子

藤倉 晶子

※欠席者9名

<事務局>

総合政策部

部長 富田 義勝

企画政策局長 波頭 健

市民が真ん中課

課長 中田 匡亮 課長補佐 尾崎 大輔

政策調整推進官 森 聖二 係長 重松 辰弥

主査 安部 昂大

（委託業者）有限責任監査法人トーマツ 大阪事務所

玉井 智文、黒山 祐嗣

第4回今治市総合計画審議会 会議録 ※内容1については省略

事務局	(議事1の内容について説明)
会長	前回の第3回審議会で寄せられた意見が総合計画基本構想(案)に反映されているのか、委員の皆様からご意見いただきたい。総合計画基本構想(案)の将来都市像の下部に物語調の情緒的な文章があるが、私の好みでは良いと考える。
委員	将来都市像の下部の物語調の文章について、行政文書でこのような記載はあまり見かけないため、新鮮である。今後、将来都市像の下部の物語調の文章を、総合計画以外でも、将来都市像をアピールする時に使用するのか。総合計画以外でも、活用を想定されているのかお伺いしたい。
事務局	まず、将来都市像の下部に詩的な文章を加えた経緯を説明したい。総合計画は一般の市民にも読んでいただきたいこと、10年後にどのような今治市になっているのかをイメージしていただきたいことを考慮して、詩的な文章を加えた。今後の活用については、総合計画完成後に市民に周知するために、将来都市像に加えて、下部に記載のある詩的な文章をインターネットやチラシに掲載することで、市民になじみやすさを感じてほしいと考えている。
委員	市民になじみやすさを感じるために、様々な形で活用していただきたい。
会長	例えば、西日本豪雨での被害にあった愛媛県西予市野村町で、アカペラグループ INSPi の杉田さんが、西予市野村町の児童と野村町の応援歌を作成した事例がある。今の小学校5、6年生は、西日本豪雨の時は2、3歳であり当時の記憶も無いはずであるが、歌い継がれている。野村町を訪問した時に、歌い継いでいくことの意義を身近に感じる事ができた。7月5日の復興イベントでは、当時小学生であった中学生、高校生と今の小学生が、野村町の応援歌を合唱している時が最も盛り上がり、胸が熱くなった。野村町の例は今治市とは異なるかもしれないが、今治市でも、10年後も残るようなメッセージを打ち出すことができればよい。
委員	非常に共感できるお話しであった。予算との兼ね合いになるが、文章だけでなく動画を作成することで、市民もより10年後の今治市の姿をイメージしやすいのではないかと。
会長	ありがとうございます。他に意見あるか。

委 員	計画で使用する日本語は、やさしく分かりやすい日本語を使用していた くことで、幅広い市民が読みやすい計画になると考える。
事 務 局	市役所内でも、やさしい日本語を使用することで、子どもから大人、外国 人まで、幅広い市民にメッセージを届けることができると考えている。総合 計画についても、可能な限り、幅広い市民に手に取ってもらいたいと考えて おり、概要版も含めて、可能な限りやさしく分かりやすい日本語を使用した い。
委 員	基本計画は、将来今治市がどのようになってほしいかを説明する計画であ る。香川県が都道府県魅力度ランキングで1位になったことを参考にする と、やはり発信力が必要である。総合計画は、市民に読んでいただける計画 でありながらも、市外、県外の人にも読んでいただける工夫があると、今治 市がより魅力的なまちになる。施策大綱1の今治の未来を育む、子育て世帯 への切れ目のない支援の取組で、ネウボラの取組内容等を記載することで、 市外、県外の人でも今治市に居住したいと考えるのではないかと。子育てのみで はなく、産業等の他の分野も市外の人をより意識した計画になるとよい。
事 務 局	総合計画は、様々な用途に使用するという目的もある。例えば、総合計画 の概要版は市民に手に取ってもらいやすいように作成するが、加えて、県外 に今治市の売り込みをする時に、今治市は将来このようなまちを目指してい ますと紹介する際に使用することもできる。市民の為だけでなく、県外の人 にも今治市の目指す方向性や将来のめざすまちの姿を伝えることができる 総合計画にしたいと考えている。
会 長	概要版だけではなく、イラストでも今治市の将来のまちの姿を伝えること ができるようにすることも、本日の重要な論点の一つとなっている。資料2 のデザインコンセプト（案）に3つのデザインコンセプトがあるが、どのデ ザインコンセプトがよいかご意見いただきたい。
委 員	デザインに配置されているオブジェクトは仮の状態であるとのことであ るが、Aのデザインのように、BとCでも今治の特徴ある施設等のオブジェ クトを描くのか。もしくは、Aのデザインのみ、今治の特徴ある施設等のオ ブジェクトを描くのか。
事 務 局	今治城等、主要な施設はいずれのデザインコンセプトにおいても描く想定 である。今は仮レイアウトの状態であるため、具体的にどの特徴を描いてく かは今後決めていきたい。

委	員	橋は今治市の大きな特徴であるため、記載してほしい。
事	務	局 急ぎでデザインを作成したため、デザインで抜け落ちている部分もある。最終化する時に、橋等、今治の特徴を表すもの描いて、将来の今治市の姿がイメージできるデザインにしたい。
委	員	橋が架かっていないことも要因ではあるが、BとCは陸地が空に浮かんでいるように見える。海の色をワントーン下げてもいいのではないかな。
事	務	局 陸地と海の色彩の都合でそう見えるものと思われる。そういった点も今後調整していきたい。
会	長	デザインコンセプトについての庁内での意見を共有していただきたい。
事	務	局 庁内でアンケートを実施したところ、AとCを支持する意見が多かった。Bは少数となった。
委	員	高校生などへのアンケートや工業高校の繊維デザイン科の学生を活用するのも一案である。
委	員	Bは、色のトーンが一定でメリハリがなく、わくわくしない。私としては、Aが色にメリハリがあり良い。詳細なデザイン化は今後とのことであるが、例えば橋のイラストでも、サイクリストの絵や、今治タオルを首にかけて笑顔でウォーキングしている人の絵などがあればよい。色彩や縮尺を工夫し、目立たせたい部分をうまく目立たせることができればよいのではないかと考えている。
委	員	10年後の今治市の姿をイメージすると、島しょ部のデザインが旧今治市内と同じような雰囲気であることに違和感を覚える。少子高齢化が進み、島しょ部はどのように賢くシュリンクしていくのかが問われている。旧今治市とは異なった島しょ部の良さを表せるデザインにしていきたい。
会	長	デザインを作成するとなると建物を描きたくなるが、あくまでも総合計画のイメージ図であることを念頭に置くべきである。施策体系の基本目標全てが実現できている姿をイメージ図に描いていただきたい。デザインの完成形では、総合計画の各施策がデザインイメージに組み込まれていると良い。施設がただ設置されているだけではなく、今治市民や海外から訪れる人が生き生きと今治市で暮らしている、楽しんでいる姿を描いていただきたい。イ

		ラストが小学校や中学校等に配られ、市民がわくわくできるコンテンツになってほしいと考える。
会	長	以上が、総合計画基本構想（案）、デザインコンセプト（案）への意見となる。文章構成等、問題ないと委員から意見をいただいた。デザインについては橋のイラストを追加する等ご意見いただいたが、ぜひ総合計画を反映するようなデザインになってほしい。A、B、Cいずれのデザインコンセプトにするかについては、最終市長へお伺いすることとして、事務局預かりとする。
事	務	局
会	長	（議事２の内容について説明） 全体を通して意見あるか。
委	員	施策大綱の主要な取り組みの「子どもの学びを支える学校運営の効率化」について、文言を修正していただきたい。ご存じのとおりではあるが、学校は教員不足である。今治市の人でも今治市の学校の教職に就きたがらない。昨年、愛媛大学の教職課程の４年生と対話したが、教育現場の厳しさを感じ、民間企業への就職をする生徒がいると聞いた。このような中で、さらに学校運営の効率化を掲げるのは、１０年後を見据えた時に如何なものかと考える。「子どもの学びを充実させる学校教育への支援」と文言を修正するのは如何か。関連する主要な取り組みを見ても、学校運営の効率化よりも、学校教育への支援に適した取組が記載されているため、文言を修正していただきたい。
事	務	局
委	員	「子どもの学びを充実させる学校教育への支援」は、施策１－２－１の「今治の未来となる子どものための教育環境の充実」に含める形でどうか。 そちらに含める形はやめていただきたい。今、学校教育は大変厳しい状況であるため、学校教育への支援という形で別に記載してほしい。市内の小学校では、日付を越えてから帰宅する教員が多い。土日仕事をしなければならないが、旧今治市内から、橋代を実費で支払って、島しょ部の学校に通っている。ＩＣＴ化が進めば、教員の負担が軽減できる。教員の負担を考えると、学校教育への支援を施策の１つにしていきたい。
事	務	局
		教員の負担が多いことについては、庁内でも議論になっている。施策の文言等、教員の方からの意見もいただいて考えていきたい。教育委員会とも、協議をしていく。

会	長 次回以降、より詳細に各施策や主要な取り組み等について議論できればと考える。 追加での意見がないため、これをもって本日の審議会を終了する。
----------	---